

2013年3月期

# 第1四半期決算説明会

ウシオ電機株式会社

2012年7月31日

〈免責事項〉本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

\*本資料の記載は、一部を除き切捨てによる億円単位で表記しております。

**USHIO**

Lighting —Edge Technologies

- 
- I. **第1四半期業績概況**
  - II. 通期業績見通し
  - III. 参考資料

# 今回の決算発表のポイント

- エレクトロニクス分野の市況は回復傾向にはあるものの、装置・光源ともに依然販売の伸びは弱い一方、映像関連の光源（映写機用、データプロジェクタ用）やOA用は堅調に推移し、YoYで微増収・減益。
- **装置事業：**  
映像装置分野では、デジタルシネマプロジェクタの販売台数が、先進国での普及が進んだこともあり、YoY、QoQで微減。一方、ノンシネマ製品は堅調に推移。  
  
光学装置分野では、アドテックエンジニアリング分の売上高を取り込み、YoYでは増収となるものの、前四半期に出荷の集中もありQoQでは減収。
- **光源事業：**  
放電ランプのうち、露光用UVランプはリプレイス需要が低調に推移。シネマ用クセノンランプは引き続き堅調。ハロゲンランプは、YoYで増収。
- 費用面では、研究開発費が固体光源開発用を中心にYoYで増加。
- 今期は期末に向けて業績改善が進んでいく見通しであり、第2四半期（累計）及び通期の連結業績予想については変更なし。

# 業績サマリー

(億円)	FY11	FY12	YoY		FY11	FY12	QoQ	
	1Q	1Q	増減	%	4Q	1Q	増減	%
売上高	355	359	+3	+1.1	394	359	▲34	▲8.7
営業利益	27	19	▲8	▲30.2	16	19	+2	+14.2
営業利益率 (%)	7.7	5.3	▲2.4P	—	4.2	5.3	+1.1P	—
経常利益	37	11	▲26	▲68.8	28	11	▲16	▲58.5
当期利益	34	5	▲29	▲85.3	15	5	▲10	▲68.4
EPS (円)	25.68	3.84			12.17	3.84		
為替レート (円)								
USD	81	80			79	80		
EUR	118	101			110	101		

為替による通期の影響額 (億円)	売上高	営業利益	経常利益
USD	14	2	3

## セグメント別 売上高、営業利益、営業利益率

(億円)		FY11				FY12			
		FY11		YoY		FY11		QoQ	
セグメント		1Q	1Q	増減	%	4Q	1Q	増減	%
装置事業	売上高	214	219	+4	+2.3	251	219	▲32	▲12.9
	営業利益	6	3	▲2	▲44.1	2	3	+5	—
	営業利益率 (%)	3.1	1.7	▲1.4P	—	0.9	1.7	+2.6P	—
光源事業	売上高	135	131	▲3	▲2.8	133	131	▲1	▲1.3
	営業利益	19	14	▲5	▲25.8	19	14	▲4	▲22.9
	営業利益率 (%)	14.8	11.3	▲3.5P	—	14.4	11.3	▲3.1P	—
その他	売上高	6	9	+2	+40.4	9	9	+0	+1.1
	営業利益	0	0	+0	+25.7	0	0	+0	+40.4
	営業利益率 (%)	3.2	2.8	▲0.4P	—	2.0	2.8	+0.8P	—

# 装置事業セグメント概況

## ◆映像装置：

デジタルシネマプロジェクタの販売台数はYoY、QoQともに微減。ノンシネマ製品は堅調に推移。

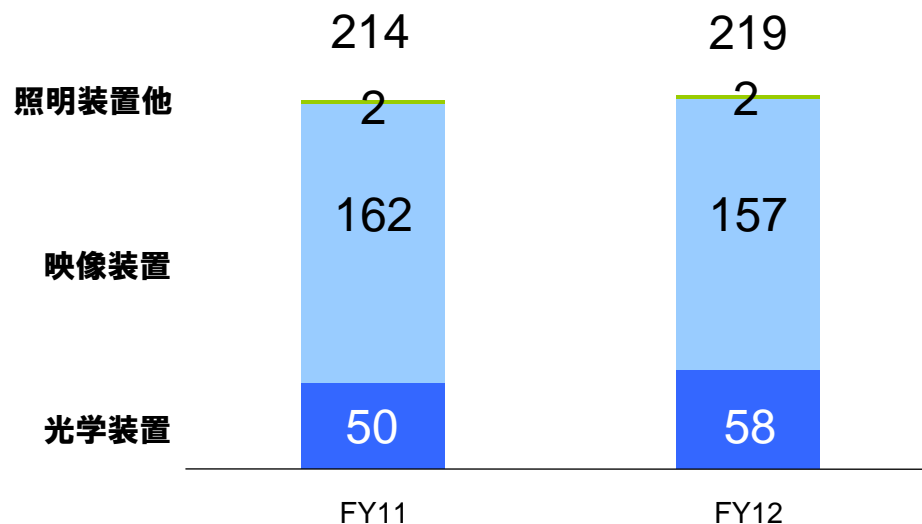
## ◆光学装置：

アドテックエンジニアリング分を取り込み、YoYでは増収となるものの、出荷の季節性もありQoQでは減収。

《1Q前年比較》

(億円)

売上高



《1Q直前期比較》

(億円)

FY11  
4Q

FY12  
1Q

QoQ

売上高		FY11 4Q	FY12 1Q	QoQ
映像装置		159	157	▲1
光学装置		88	58	▲28
照明装置他		5	2	▲2
<b>合計</b>		<b>251</b>	<b>219</b>	<b>▲32</b>

《1Q前年比較》

(億円)

FY11  
1Q

FY12  
1Q

YoY

売上高		FY11 1Q	FY12 1Q	YoY
映像装置		162	157	▲4
光学装置		50	58	+8
照明装置他		2	2	+1
<b>合計</b>		<b>214</b>	<b>219</b>	<b>+4</b>

# 光源事業セグメント概況

## ◆放電ランプ：

露光用UVランプは、FPD、半導体を中心にリプレイス需要が回復傾向にはあるものの、低調に推移。シネマ用クセノンランプやデータプロジェクタ用ランプは引き続き堅調。

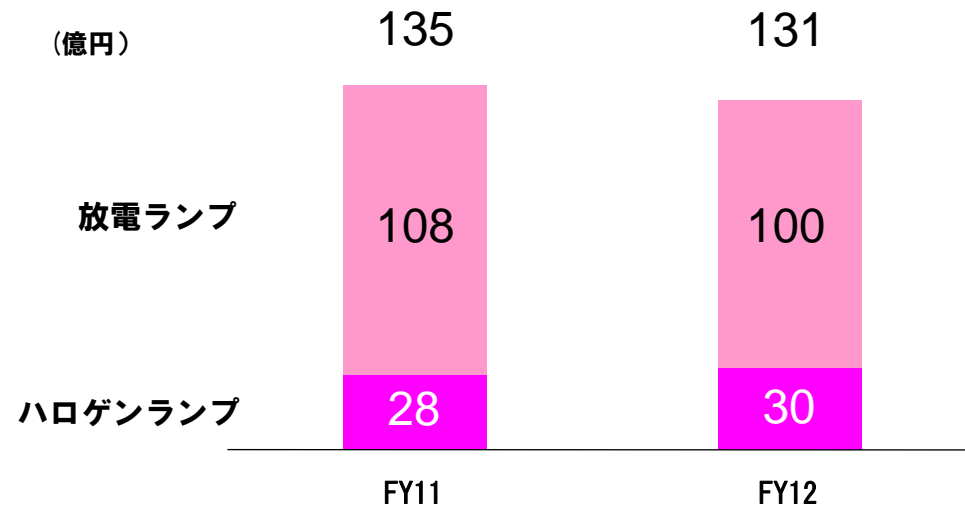
## ◆ハロゲンランプ：

OA関連では、欧州での景気低迷の影響が出始めるも、タイ洪水発生後の緊急対応でYoYで売上が増加。

《1Q前年比較》

(億円)

売上高



《1Q直前期比較》

(億円)

FY11  
4Q

FY12  
1Q

QoQ

《1Q前年比較》

(億円)

FY11  
1Q

FY12  
1Q

YoY

売上高		FY11 4Q	FY12 1Q	QoQ	売上高		FY11 1Q	FY12 1Q	YoY
	放電ランプ	99	100	+0	売上高	放電ランプ	108	100	▲6
	ハロゲンランプ	33	30	▲2		ハロゲンランプ	28	30	+2
	合計	133	131	▲1		合計	135	131	▲3

- 
- I. 第1四半期業績概況
  - II. **通期業績見通し**
  - III. 参考資料



## 通期業績の見通し

(億円)	1Q	上期公表値	通期計画
売上高	359	800	1,650
営業利益	19	45	120
営業利益率 (%)	5.3	5.6	7.3
経常利益	11	55	145
当期利益	5	40	100
EPS (円)	3.84	30.5	76.26
ROE (%)	0.3	2.5	6.2
配当 (円)	—	—	22
配当性向 (%)	—	—	28.8

\*第2四半期（累計）及び通期の連結業績予想については変更なし。

# 今後の見通し

## 装置事業

### ◆映像装置分野

デジタルシネマプロジェクタは新興国中心の需要となり、販売台数は緩やかな減少が想定される中、4Q以降、新製品「Solaria One」を投入し、市場シェアの更なる拡大を狙う。またノンシネマ分野での着実な成長を目指す。

### ◆光学装置分野

大型液晶パネル関連の光学装置の需要は引き続き低迷が想定されるものの、中小型パネルでの高精細化に伴う設備投資、とくに新プロセス用装置などを中心に需要の拡大が見込まれる。また、パッケージ用などの電子部品関連の引き合いは堅調。なお装置の出荷は第2四半期、第4四半期に集中の見込み。EUV光源装置の開発を鋭意推進。

## 光源事業

### ◆放電ランプ

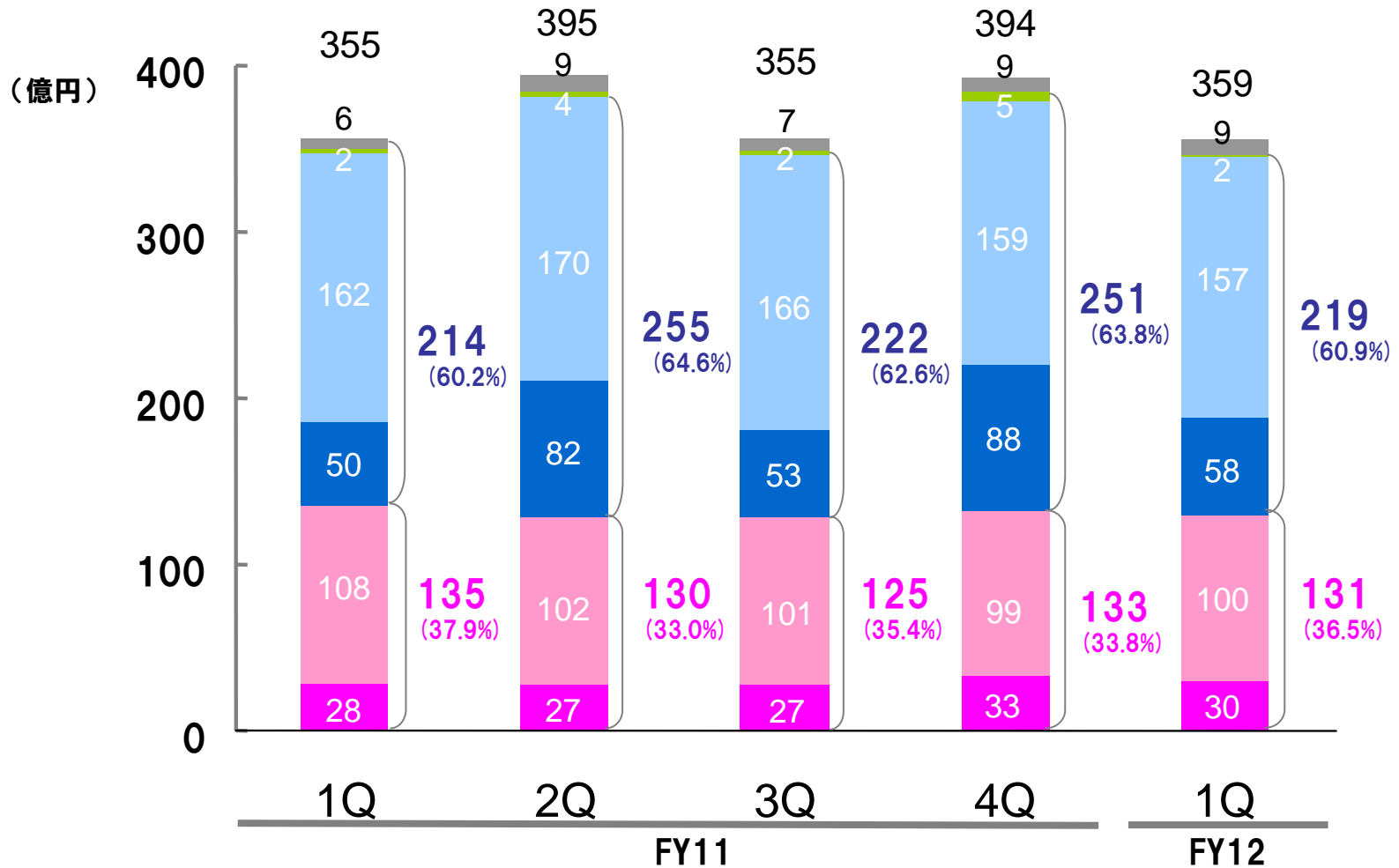
露光用UVランプのリプレイス需要は下期にかけて本格的回復段階に入ると想定。シネマ用クセノンランプはデジタルシネマプロジェクタの総設置台数の増加により、また、データプロジェクタ用ランプは、ハイワットage製品の評価が高く、いずれも堅調の見込み。

### ◆ハロゲンランプ

0A用ハロゲンランプは欧州での景気低迷の影響を受けつつも、高いシェアを維持。

- 
- I. 第1四半期業績概況
  - II. 通期業績見通し
  - III. **参考資料**

# サブセグメント別売上高 《四半期比較》



## 装置事業

- 映像装置
- 光学装置
- 照明装置他

## 光源事業

- 放電ランプ
- ハロゲンランプ

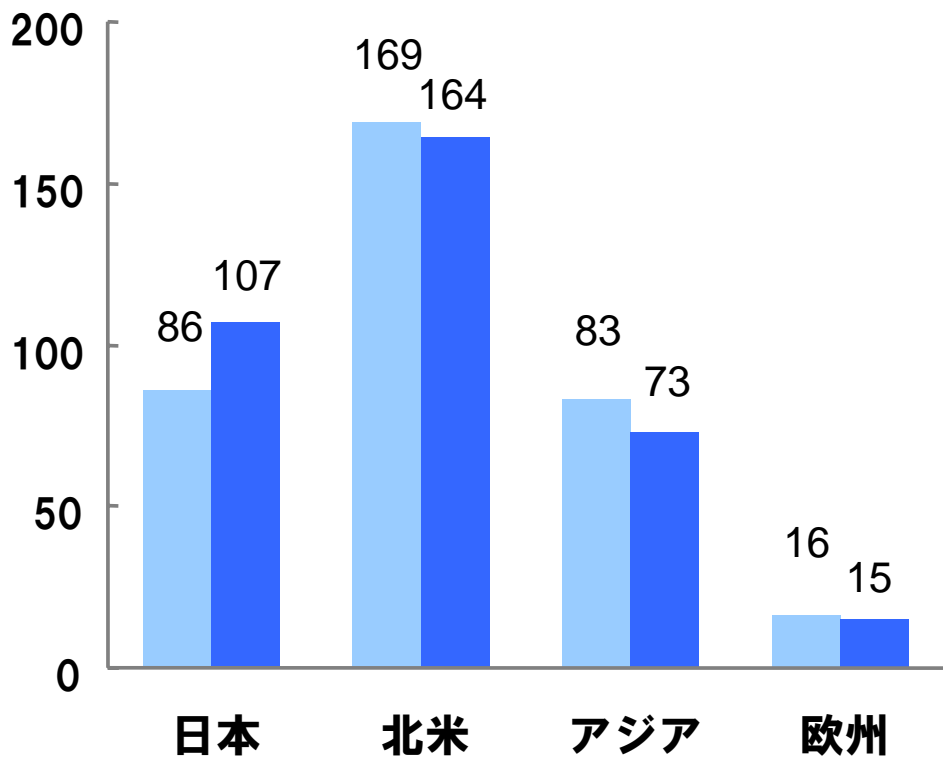
## その他

- 産業機械・その他

# 地域別損益

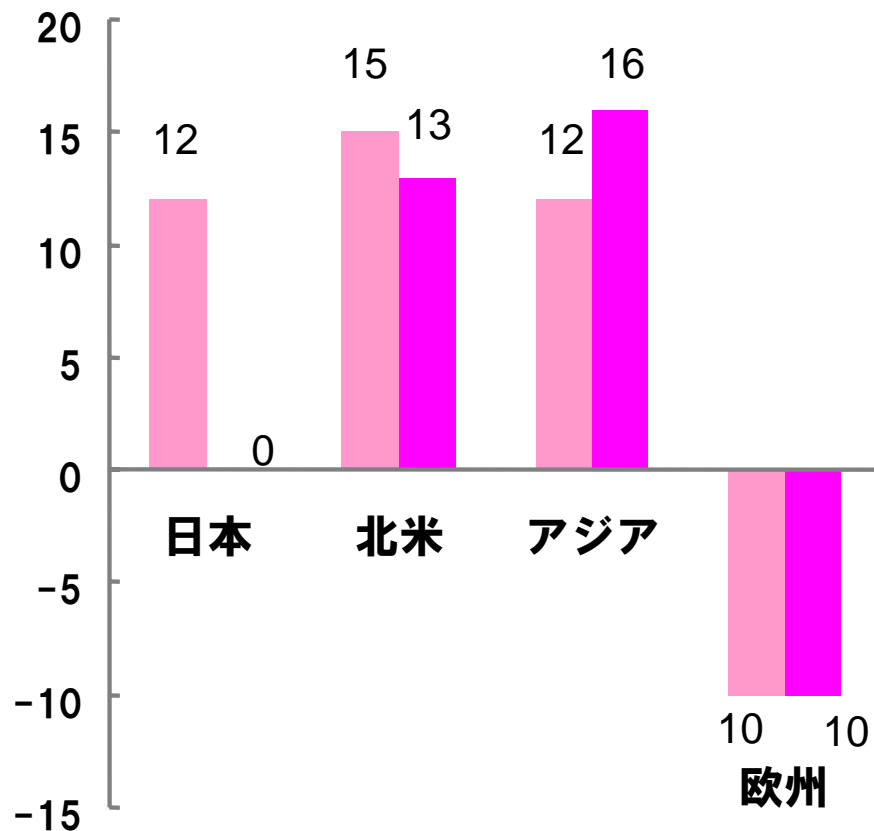
## ◆売上高

(億円)      ■ FY11/1Q      ■ FY12/1Q



## ◆営業利益

(億円)      ■ FY11/1Q      ■ FY12/1Q



# 営業外収支

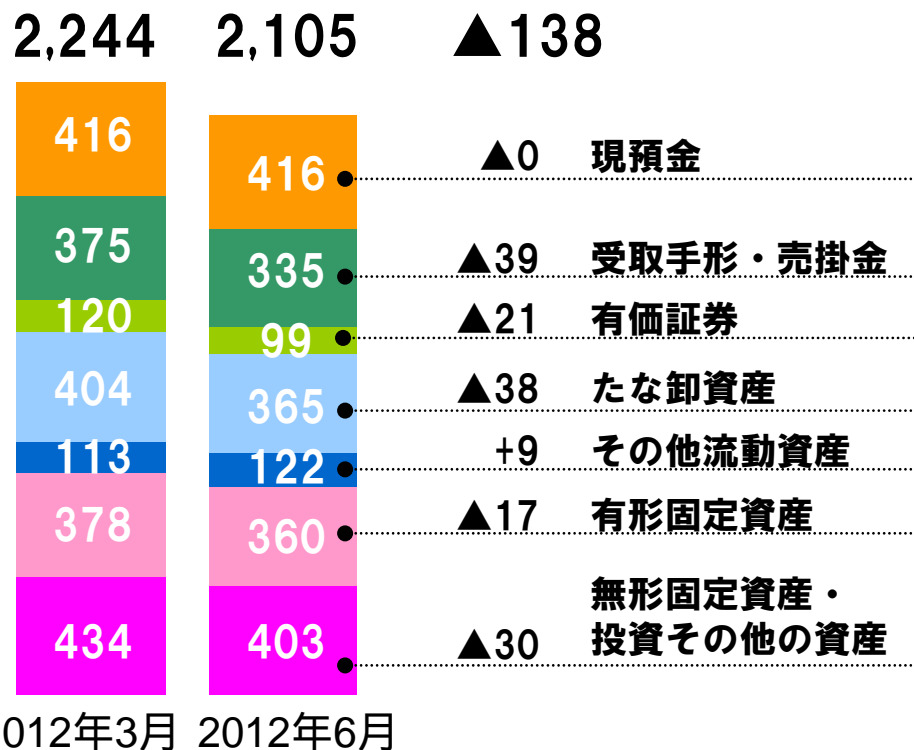
(億円)	FY11/1Q	FY12/1Q	YoY
<b>営業外収益</b>	<b>13</b>	<b>5</b>	<b>▲8</b>
受取利息	0	0	+0
受取配当金	3	3	▲0
投資有価証券売却益	7	0	▲7
持分法による投資利益	0	0	▲0
その他	1	0	▲0
<b>営業外費用</b>	<b>2</b>	<b>12</b>	<b>+9</b>
支払利息	0	0	▲0
為替差損	1	8	+7
売買目的有価証券運用損	-	1	+1
その他	0	1	+0
<b>営業外収支</b>	<b>10</b>	<b>▲7</b>	<b>▲17</b>

# BS内訳

## ◆資産

(億円)

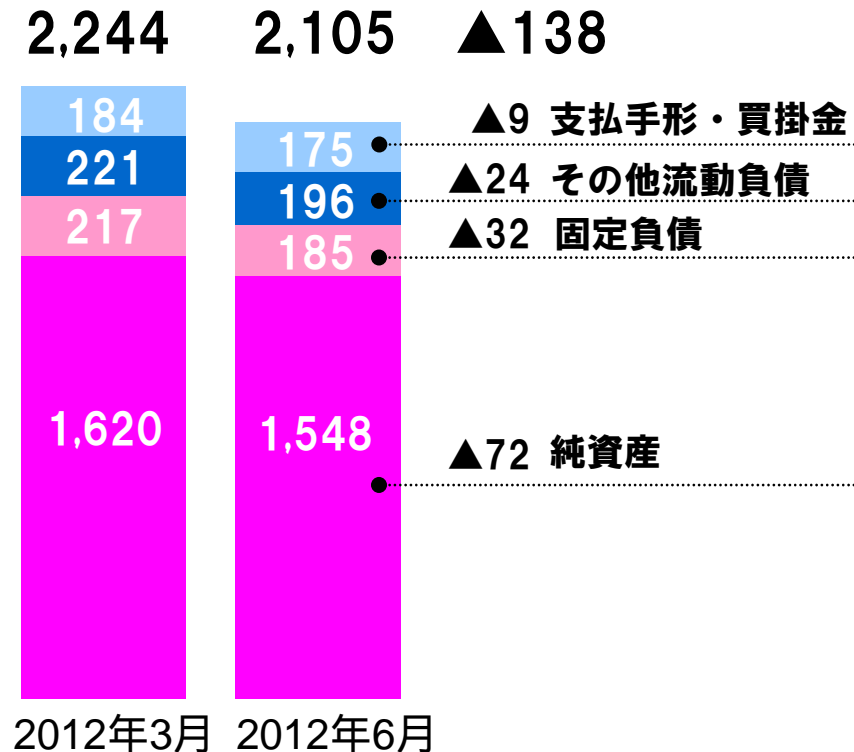
増減



## ◆負債・純資産

(億円)

増減

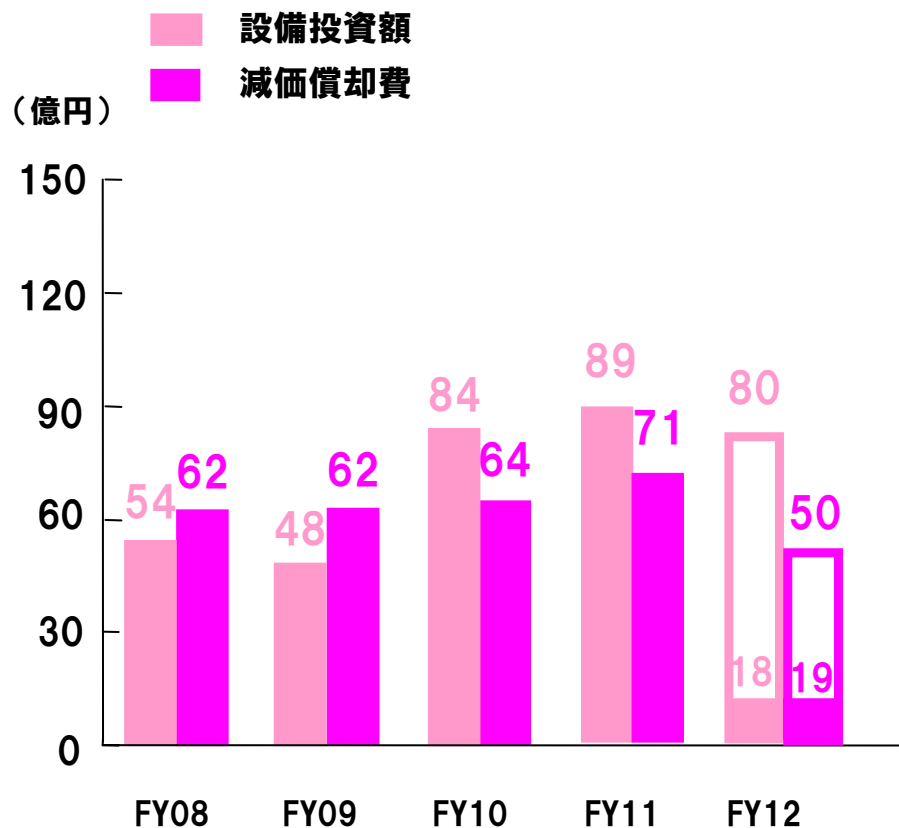


●回転月数 (ヶ月)	2012/3	2012/6
売上債権	2.9	3.0
たな卸資産	3.2	3.2

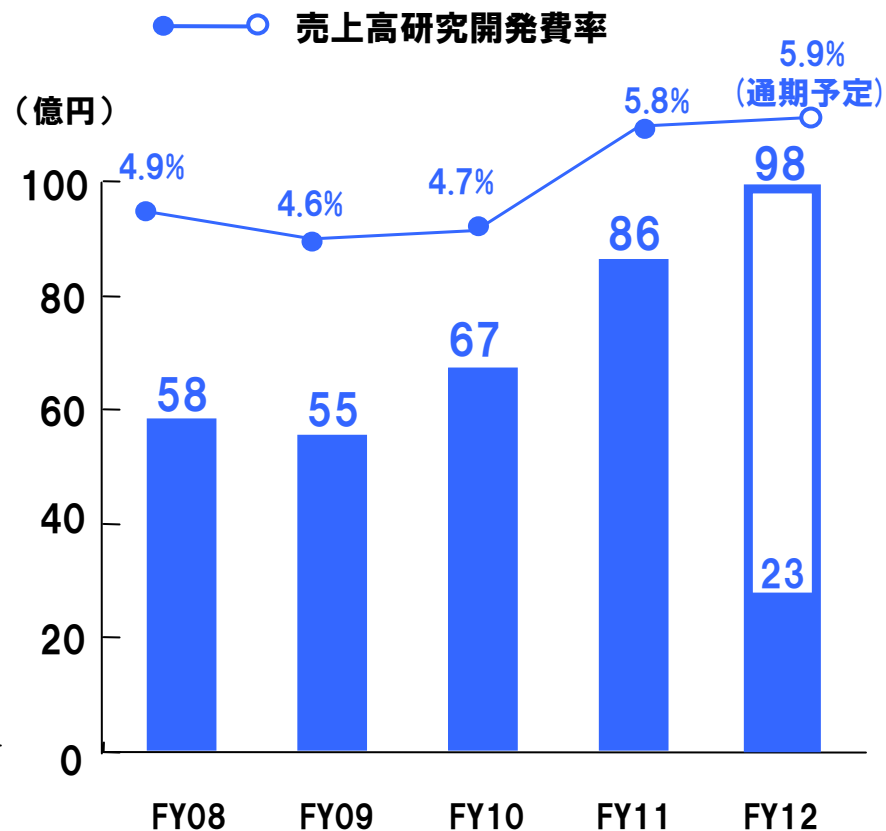
●自己資本比率	2012/3	2012/6
	70.8%	72.1%

# 設備投資額・減価償却費・研究開発費

## ◆設備投資額・減価償却費



## ◆研究開発費







# USHIO

本資料に関するお問い合わせ先  
ウシオ電機（株）広報IR室 （03）3242-1836  
[contact@ushio.co.jp](mailto:contact@ushio.co.jp)  
<http://www.ushio.co.jp/jp/>